DJ-CH3 セットモードについて

DJ-CH3 特定小電力トランシーバーは用途に合わせて、より使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは付属の取扱説明書で説明しきれていないセットモードの内容を補完します。

本資料の使用に関して...
本資料の内容は予告なく変更することがあります。
ソフトウェアのバージョンによっては、格納音声を変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、弊社の許諾が必要です。
弊社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、弊社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する損害に関し、弊社は一切その責任は負いません。

【重要なご注意】
同梱の説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で行っていない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本機は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。設定を変更されたり、リセットされたりした場合は弊社カスタマーサービスに「もとに戻したい」と相談されても、もとの状態が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときは面倒でも全員の無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

[セットモード操作]
F キーを押しながら GR キーを短押しします。ランプが黄色点滅しセットモードになります。
「セットモード」と鳴った後に、「1(No.)」→「電池選択」→「乾電池」が鳴ります。
項目の選択は GR キーを押すと順送りし、F キーを押すと逆送りします。
設定値の切り替えは▽/△キーを押します。
選択した番号、項目、設定値を音声でお知らせします。
PTT キーを押すと設定が完了し、受信待ち受けに戻ります。
セットモードで 1 分間キーを操作しないと、自動的に受信待ち受けに戻ります。

[セットモード項目]

1.電池選択
設定値 乾電池 / リチウム電池（初期値 乾電池）

オプションのリチウムイオンバッテリーパック EBP-70 を使用する場合には、減電池お知らせを正しくさせるためにリチウム電池を選択してください。この設定を行わないと、減電池お知らせが不正確になります。

2.コンパンダー（雑音低減）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コンパンダー（雑音低減）は通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減します。ただしコンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合は必ず OFF にしてください。かえって音質が悪くなります。

3.PTT ホールド（送信保持）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを１度押すと送信状態を継続し、もう１度押すと待ち受け状態になります。
この機能を使用すると送信中に PTT キーを押し続ける必要がなくなります。

4.VOX（音声検知送信）

設定値 OFF / Low / High（初期値 OFF）

PTT キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えることができる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声がなくなれば待ち受け（受信）状態になります。

Low ： VOX 感度 小（大きな音で反応します。周りがうるさくて黙っていても送信してしまうときにお勧めします）

High： VOX 感度 大（小さな音で反応します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を Low に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
・VOX 運用中は音声入力から送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で VOX での送信保持時間が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

5.コールバック（音声モニター）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コールバック（音声モニター）機能を ON に設定すると、送信中にイヤホンから自分の声が聞こえ話しやすくなります。

6.エンドピー（送信終了音）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝える機能です。

【メモ】エンドピー（送信終了音）は送信側から発せられるため、機能を ON/OFF するときは送信側機器を設定してください。

7.秘話
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

秘話機能を使う（ON）と「モガモガ」した声になって通話内容を他人に聴かれにくくなります。ただし他の無線機でも同様の設定をすれば簡単に聴くことできるので、セキュリティは非常に低いものです。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で秘話の周波数が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

8.ベル（呼び出しお知らせ）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

呼び出されたことをランプとベル音でお知らせします。
呼び出された場合、何かのキーを押すまで待ち受け状態のランプが緑色点滅になります。

【メモ】一定時間通話が途切れた後に受信したとき 10 秒間ベルが作動します。

9.ガイダンス音量
設定値 OFF / Low / High（初期値 Low）

本機から鳴るビープ音と音声ガイダンスの音量を調整できます。

OFF ： すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）と音声ガイダンスが鳴らなくなります。ただしセットモード中と電源キー短押しでのチャンネルとグループのお知らせはガイダンスが鳴ります。
本機は液晶がないため、ガイダンスを OFF にするとどのような状態になっているか分かりませんので、ご注意ください。

Low ： 初期値の音量です。

High： 初期値の Low 設定時よりも、すべてのビープ音と音声ガイダンスの音量が大きくなります。

注）イヤホンを使用した状態でガイダンス音量を「High」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

10.送信出力

設定値：High(10mW) / Low(1mW)（初期値 High）

送信時の送信出力を変更することができます。

Low ： 1mW 出力　初期値の High 設定時よりも送信出力が小さくなります。

High： 10mW 出力　送信出力が大きくなり、Low 設定時よりも広いエリアでの通信ができます。

【メモ】送信出力を Low に設定すると通話距離は短くなりますが、中継ビジネスチャンネル（b12〜b29）に設定時、通話時間を 3 分ごとに 2 秒間強制的に持ち受け状態に戻される 3 分制限がない連続通話ができます。
送信出力を High に設定時や、送信出力 Low で単信チャンネル（L01〜L09、b01〜b11）や中継レジャーチャンネル（L10〜L18）に設定時、通話時間を 3 分経過すると自動で 2 秒間強制的に待受け状態に戻されますが、PTT が押されたままでチャンネルが空いていれば再送信します。

11.緊急通報機能

設定値：OFF / ON（初期値：OFF）

緊急通報機能を ON に設定すると GR キーを 3 秒間押し続けることで内蔵スピーカとイヤホン装着時はイヤホンから緊急通報音が鳴ります。

【メモ】緊急通報機能はキーロック中でも有効です。

緊急通報音が鳴っているとき、同じチャンネル（同じグループ）の無線機に対して緊急通報音が送信され、通信相手に注意喚起することができます。緊急通報音を停止させたい場合は、PTT キーを 1 回押すことで停止されます。

12.オートパワーオフ

設定値：OFF / 30分 / 1時間 / 1時間30分 / 2時間（初期値：OFF）

電源の切り忘れを防ぐ機能です。設定した時間、キー操作されることなく経過するとビープ音でお知らせして、自動的に電源が切れます。音声などを受信してもタイマーはリセットされません。

13.受信音ミュート（接客モード）

設定値：OFF / ハンド / タッチ / ボイス（初期値：OFF）

イヤホンマイクを装着時に、ワンタッチまたは自分の声で受信音をミュート（音量1）にする機能です。ミュート解除後は、設定された音量値に戻ります。

ハンド：イヤホンマイクのPTTキーを短押しすることでミュートがかかります。解除方法は同じようにPTTキーの短押しで解除されます。

タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくことでミュートがかかります。解除方法は同じようにマイクを軽くたたくことで解除されます。

ボイス：マイクに声が入るとミュートがかかります。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

注）・タッチとボイスでは、バッテリーセーブ機能が働かないため電池の消耗が早くなります。
- 受信音ミュートはVOX機能、PTTホールド機能を設定時は使用できません。
- ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
- ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
- ハンド設定時は送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。
- タッチとボイスでは VOX 機能が使えない一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
- ボイスは音声以外で作動してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」でタッチとボイスの感度レベルと、全設定のミュート保持時間が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

DJ-CH3 セットモードの拡張について

本機には、特定の環境やニーズに合うようカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。意味を理解して設定しないといつもとまったく違う動きをしたり、一部の機能が使えなくなったり、音が悪くなったり、電池の減りが早くなったりと、「故障と勘違い」されることがあるため、あえて製品同梱の説明書には記載していません。
まず説明をご覧になり、各機能をよくご理解したうえで、操作してください。
これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めたすべてを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。増えた項目は通常セットモード項目の後ろにNo.14から続けて追加されます。

本資料の使用に関して...
本資料の内容は予告なく変更することがあります。
ソフトウェアのバージョンによっては、格納音声を変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、弊社の許諾が必要です。
弊社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、弊社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する損害に関し、弊社は一切その責任は負いません。

【重要なご注意】
もし、ユーザーグループの中に無線機システムの管理者がいる場合、拡張セットモードやリセット操作は絶対にしないでください。リセットや設定変更をすると通信できなくなることがあります。弊社のカスタマーサービスに「もとに戻したい」と相談されても、もとの状態が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときは面倒でも全員の無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

［セットモード拡張の方法］

1：F キーを長押しし、キーロックを掛けます。実行後は「ププププッ」とビープ音が鳴ります。（簡易・通常キーロックのどちらの方法でも可）
2：続けてグループキーを5回連続で押します。押した後は「プププッ」とビープ音が鳴ります。10秒以内に5回押さないと有効になりません。5回連続押しが有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。
3：自動的にキーロックが解除されます。
4：セットモードに入ると下記のメニューが追加されています。
＊ 変更した値を保存して拡張メニューを隠すには、上記1～4の操作を繰り返します。
＊ チャンネルや通常のセットモードの設定も含めて全てを工場出荷状態まで初期化するには、電源を切った後電源キー、▽キー、F キー、GR キーの4つを押した状態で電源を入れ、5秒間押し続けます。初期化が成功すると、ランプが白色点滅し、「初期化しました」のガイダンスと共に全ての設定がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

＊ 説明書に記載のリセット（初期化）方法では拡張セットモードは閉じず、設定した値も初期化されません。ただし拡張セットモード以外の部分は工場出荷状態に戻ります。

［拡張セットモード項目］

14.イヤホン断線検知

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

本機は起動時に自動的にイヤホン断線検知を行います。インピーダンスが高いなど、イヤホン/マイク端子へ接続する機器によってはまれに断線検知が誤動作することもあり、OFF が選べるようになっています。

15.バッテリーセーブ

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

待ち受け状態が 5 秒以上続くと自動で内部電源を断続的に切って、電池の消費を抑える機能です。ただしわずかですが通話の始めの部分が途切れる原因の 1 つになる場合があります。

注）OFF にすると頭切れはほぼなくなりますが、電池の消費がかなり早くなります。頭切れがあると安全にかかわるような現場以外、通常は ON にしておくことをお勧めします。

16.AGC（オートゲインコントロール）設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

マイクに大きな音が入ったときに、声が歪むのを緩和するのが AGC（オートゲインコントロール）です。
OFF に設定することで、他機種と混在させて使うときに感じる音質の相性問題を解決できることがありますが、不用意に設定を変更すると逆に音質が悪くなることもありますのでご注意ください。

注）本機と同じ機種だけで通話されるときは設定を変えないでください。

17.PTT オン/オフ設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

送信を禁止し受信専用にする機能です。OFF に設定すると PTT キーを押しても送信できなくなります。連絡を聞くだけの「受令機」として使うときの設定です。

注）VOX 運用時と緊急通報の警報は、送信禁止になりません。

18. トーンマージン設定

設定値 NOL(OFF) / SP(ON)（初期値 NOL(OFF)）

グループトークでのトーン判定精度を調整できますが、本機と同じ機種だけで通話されるときは設定を変えないでください。本機と異なる機種と混在させて使ったときに、同じグループ番号に設定しているのに通話できない場合はまずグループ番号を 2 桁の大きな数字にしてみてください。
それでも上手く動かないときや、大きな番号に設定できない機種のときは、この設定値をSP(ON)に設定してください。ただし近い番号のグループ番号を誤判定して他人の通話が聞こえたり、受信の終わりに「ザッ」音（テールノイズ）が聞こえることがあります。

19. グループ種類切り替え設定

設定値 トーン / コード 1 / コード 2（初期値 トーン）

本機のグループトーク機能は一般的な番号方式（トーンスケルチ）の他、DCS（デジタルコードスケルチ）に切り替えることができます。グループ種類切り替えをコード 1、コード 2 に設定し、通常のグループトークと同様に待ち受け（受信）状態で GR キーを押すことで DCS 番号を設定できます。グループ番号の変更はトーンスケルチと同様、▽キーを押しながら電源を入れて選択するか、待ち受け（受信）状態で GR キーを押しながら▽/△キーを押して変更してください。

コード 1 : 01～83 の 83 通りのコード番号から選択
コード 2 : Cd017～Cd754 の 108 通りのコードから選択

注）グループ番号の変更はあらかじめグループ設定（GR キー短押し）を有効にする必要があります。

20. スケルチレベル

設定値 0 ～ 5（初期値 3）

スケルチのレベルを 0～5 の範囲で調整します。待ち受け時になる「ザー」というノイズを消す機能で、‘0’で解放（ザーが鳴りっぱなし）です。レベルを大きくし過ぎるとノイズでスケルチが開きにくくなるかわりに、弱い信号は受信しなくなります。反対に小さくし過ぎると弱い信号でも受信しやすくなるかわりにノイズでスケルチが開きやすくなります。電波環境でノイズが変わることがあるので微調整できるようになっています。

【メモ】グループ機能設定時はレベルを‘0’にしてもノイズが出ません。

21.キーロック時間

設定値 1 ～ 3（初期値 2 秒）

キーロックするときのキーを押し続ける時間を設定します。時間を長くすればキーロック設定の誤動作が少なくなります。

22.マイク音量調整

設定値 1 ～ 7（初期値 4）

通話時の癖やアクセサリーマイクのゲインなどの都合や、人によってトランシーバーに入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大きい＝レベルを小さくする）などの場合に調整できるようになっています。他社製のマイクをお使いになるときもレベル調整が必要になる場合があります。設定を間違うと声が小さくなったり歪んだりしますのでご注意ください。

23.オプション設定

設定値 OFF / OUT / ALL（初期値 ALL）

4 極プラグのオプションイヤホン、スピーカーマイクなどを使うときに、本機 PTT と本機マイクの有効/無効が選べます。使用するアクセサリーに合わせて設定してください。

OFF：本機 PTT 無効・本機マイク無効（オプションの PTT とマイクのみ有効）
OUT：本機 PTT 有効・本機マイク無効（マイクは外部マイクのみ有効、PTT は両方が有効）
ALL：本機 PTT 有効・本機マイク有効（イヤホンだけを使うときの設定）

注）OUT、ALL でスピーカーマイクを使うとき、本機 PTT を押してもスピーカーマイクからの音声を送信することはできません。スピーカーマイクを使用する際はスピーカーマイクの PTT を押して送信してください。

24.LED 輝度調整

設定値 OFF / Low / High（初期値 High）

ランプ（LED）の明るさを変更できます。

High：明るい
Low ：暗い
OFF ：消灯

注）設定値を OFF にした場合、ランプは一切発光しなくなりますのでご注意ください。

25. 緊急通報時間設定

設定値 10 ～ 60（初期値 10 秒）

通常は緊急通報のアラーム鳴動時間と送信時間は 10 秒に設定されていますが、この時間を 10 秒単位（最大 60 秒）で変更できます。

26. 秘話通信周波数

設定値 2.7 ～ 3.4（初期値 3.4kHz）

秘話のキャリア周波数を設定します。初期値の周波数に設定したまま、秘話機能を ON にすると通信内容を他人に聴かれやすくなります。秘話に使う周波数を変えることで聴こえにくくします。通話したいグループ全員を同じ周波数に揃えてください。

27. 減電池アラーム設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

減電池時に乾電池のときは「電池を交換してください」、リチウム電池のときは「充電してください」とお知らせします。お知らせが不要なときは OFF にしてください。

28. VOX ディレイタイム（送信保持時間）

設定値 0.5 / 1 / 2 / 3（初期値 1 秒）

VOX で送信したときに、息継ぎしても途切れないよう初期値では 1 秒間黙っていても送信状態を保持します。この時間を 0.5 秒～3 秒に変更できます。送受信の切り替えを素早くしたいときに時間を短めにすると使い勝手が向上しますが、息継ぎなどですぐ送信が落ちることもあります。実験して確かめてからお使いください。

29. 中継接続手順

設定値 OFF / ON(AT2)（初期値 ON(AT2)）

中継動作自動接続手順を解除する機能です。接続タイミングを最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

30. 減電池自動オフ

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

スイッチを切り忘れるなどで過放電させると、リチウム電池や乾電池の劣化や充電不良の原因になります。これを防ぐため電池の電圧が一定レベルまで低下すると自動的に電源を切ります。それでも待機電流は発生しているので、リチウム電池は取り出して保管してください。

OFF にすると電池を最後まで使い切ることができますが大きな差はありません。通常は ON でお使いください。

注）OFF にして使用する場合、電池の電圧が一定レベルを下回ったときに動作が不安定になることがあります。ご注意ください。

31. 受信音ミュートレベル
設定値 1 ～ 7（初期値 4）

受信音ミュートのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。
オプションマイクのゲインや装着位置などの都合で、マイクから入る音量が異なります。このため、ミュートが利きにくかったり、ミュートが利きやすかったりする場合に調整できるようになっています。
ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくするなどして、実験して確かめてからお使いください。

注）設定値を大きくしすぎると、誤動作するおそれがあるためご注意ください。

32. 受信音ミュート ディレイタイム
設定値 ハンド・タッチ： 5 / 10 / 15 / 30 / 60（初期値 15 秒）
ボイス　　　　： 1 / 2 / 3 / 4 / 5（初期値 3 秒）

受信音ミュートのミュート保持時間を変更できます。

ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的にミュートが解除されます。ミュート保持時間を延ばしたい場合は、設定時間を長くしてください。

ボイスでは息継ぎしてもミュート解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切り替えを素早くしたいときに設定を短めにすると使い勝手が向上しますが、息継ぎなどですぐミュートが解除されることもあります。実験して確かめてからお使いください。